



チーム身延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる」

身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

新校舎の梁にメッセージを書きました

文責 校長 穂坂洋紀

5月16日（火）に、今、工事が着々と進んでいる新身延中学校の建設現場に行きました。

来年度以降、新校舎に通う子どもたちに、校舎の建設工事の段階から関わってもらい、新校舎への親しみの思いや、さらに、そこで学んだ後も、身延中学校や身延町に愛着の思いをもってもらいたいという願いの中で、「身延中学校新校舎の梁に寄せ書きをしよう！」というイベントを町の教育委員会が実施してくださいました。



当日は、身延小学校だけでなく、下山小学校や身延清稜小学校の3年生から6年生までが一堂に集まりました。

はじめに、完成した姿や現在の工事の状況を説明してもらいました。その後で、学校ごと、学年ごと、梁の部分に割り当てられた縦20cm 横30cmのスペースに、夢や希望、目標などを自分の名前と共に書きました。「中学校でがんばりたいこと」や「なりたい職業」「想い描く家族の姿」、中には「世界の平和」について書いている子もいました。



子どもたちがメッセージを書いた梁は、職員室の天井上に配置されるそうです。

「参加した子どもたちが、入学するのを楽しみにしてほしい、そして、入学してからも楽しく充実した中学校生活を送ってほしい」と、自らの思いを一心に書いている子どもたちを傍らで見ながら、心の中で願っていました。

町内一斉引渡し訓練のご協力ありがとうございました

ここ最近、日本全国で大きな地震が頻発しています。そんな中、5月22日（月）に、町内の中学校や保育所・保育園と合同で、一斉引渡し訓練が行われました。

町の防災無線が流れた後、全児童は、まず校内放送で移動するときの注意と指示を受け、引き取り場所へ移動しました。集合完了後、人員確認し、兄弟姉妹がいる子どもたちが一番上の兄姉の場所に移動しました。例年、上記のような対応を丁寧にさせていただいているので、開場するまでに時間がかかってしまいます。何人かの皆さまにはお待ちいただきましたが、扉が開いて、おうちの方が来た時の、子どもたちのうれしそうな笑顔が印象的でした。



当然ですが、危険が迫るほど緊張感は増します。そんなときこそ冷静な行動が大切です。

児童が待機場所まで学年ごとに移動し整列する様子を観ていましたが、学年を問わず、子どもた

ちは、みんな静かに真剣な態度で臨んでいました。災害等の危険が迫っているようなときは、よく「自分の命は自分で守る」と言われます。そのためにはまず、子どもたち一人ひとりが、おかれている状況を自分の事として捉えることが大切です。今回の児童の様子を見てみると、この訓練の大切さを自覚できていたと思います。

今回の訓練は、南海トラフ地震に関する情報が発令されたことを想定したものでした。しかし、いざ、大規模地震が発生すると、電話による連絡ができなかったり、メールが届かなかったりすることが予想されます（過去において、緊急に出したメールが届くまで 1 日半かかってしまったことがありました）。

そこで町内小中学校では、震度 5 弱以上の地震が発生した場合には、引き渡しの連絡の有無にかかわらず、保護者の方に児童・生徒を引き取りに来ていただくことになっています。

当日は、引き取り者の名前を職員と保護者の方で確認しながら訓練を行いました。

万が一の時にも訓練の通りに整然と引き渡しができるように、毎年の取り組みが大切だと感じました。

平日の昼間というお忙しいときでしたが、保護者のみなさま、ご協力ありがとうございました。

雨の日の心温まるできごと

6 月 8 日に「関東甲信越が梅雨入りした」と発表がありました。

今年は台風も接近し、雨の多い日が続いています。

ある 5 月の雨の日にこんなできごとがありました。

下校の時、お迎えのグループが西側昇降口に集まってきました。そのときに 6 年生のある児童が、「4 年生から 6 年生は傘をさして、前に出てきて」と言いました。それを聞いたときに、はじめは、何でそんなことを言うのかわかりませんでした。その言葉の通りに上級生が昇降口の前に集まっていると、帰りの会を終えた 1 年生から 3 年生までが、ちょうど西昇降口の中で、雨に濡れずに待てる状態になっていました。

上級生が外で待つことによって、下級生が傘をささずに待てるようになったのです。自らのことだけでなく、視野を広く持ち集団全体のことを考えられる、その行動にととても感心しました。また、今思えば、その言葉を聞いた児童の多くが、自分たちが昇降口の中にいたら、下級生が靴も履けずにその場が混雑することを理解していたのだと感じます。

そのとき何も言葉をかけずにその光景を見ていましたが、人が見えていても見ていなくても、さりげない優しい行動がとれる児童に囲まれていることに、この上ない幸せを感じる瞬間でした。



雨の日の早期下校へのご対応に感謝します

大型の台風 2 号が日本列島の南を通過した影響で、梅雨前線が活発化して大雨になった 6 月 2 日（金）は、下校時間を 13 時 30 分に早めさせていただきました。前日よりメールチェックの呼びかけをさせていただいたとは言え、当日 10 時というメール配信に、各ご家庭で対応していただいたことに、本当に感謝いたします。

下校の時間帯はあいにく雨も強まり、ご苦労をおかけしました。中には連絡内容がうまく伝達されずにご迷惑をおかけしたご家庭もあり申し訳なく思っています。

今後も、児童の安全を第一に考えながら教育活動を進めていきたいと考えています。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。